

東京地区生コンクリート協同組合  
〒103-0027東京都中央区日本橋3丁目2番5号  
電話番号 (03)3271-2181  
URL:https://www.t-namakyō.jp/  
発行責任者 高村尚

＝協組の動き＝

(2月)  
13日(火) 理事会(No.1211)  
26日(月) 理事会(No.1212)

(3月)  
11日(月) 理事会(No.1213)  
25日(月) 理事会(No.1214)

経営者・共販セミナー

主催：東京都生コンクリート工業組合  
日時：2月16日(金)15時～  
場所：第一ホテル東京(新橋)



お鍋が美味しい季節ですね

(※2024年1月出荷実績は裏面に)

# 令和6年 新年賀詞交歓会を開催

## 出荷ベースの定着と完全週休2日制への 理解・協力を仰ぐ

当協組は1月5日(金)に都内のホテルにて登録販売店、セメントメーカー、各調査会等関係各社並びに組合員各社から約200名の方々にご参加いただき、新年賀詞交歓会を開催いたしました。

青木理事長をはじめ御挨拶いただきました方々より、元日に発生した能登半島地震において被災された方々に対しお見舞いのお言葉が述べられております。

青木理事長は年頭挨拶の中で下記の4つの重要施策について説明し、関係者に理解と協力を要請しました。



明けましておめでとうございます。年頭のお忙しい中、各方面の大勢の方にお集まりいただき誠にありがとうございます。

現執行部になり約7カ月が経ち、理事長就任時の挨拶では「嵐の中の船出」と表現しました。振り返りますと一昨年のようなセメントの値上げは落ち着いてきましたが、引き続き止まることの無い粗骨材・細骨材の値上げ、産廃処理費の高騰及び処理量の削減、デフレ脱却のための賃上げ、輸送コストの上昇、修繕費や電力費の高騰等、まだまだコストアップの要素が続いています。また今年は2024年問題もあり、嵐は治まる状況にはないと認識しております。

昨年4月より生コン価格を+2,000円/m<sup>3</sup>改定させていただき、金融機関からの借入れも実施したところであり、組合員の経営は一息ついた状況になったと思います。しかしコストアップの価格転嫁に対応できない300万m<sup>3</sup>もの旧契を抱えており、一昨年10月より旧契についても500円/m<sup>3</sup>の値上げをさせていただき、登録販売店の皆様には大変なご苦労をかけております。このような状況の中でまだまだ嵐が続いていくと認識しておりますが、組合員が一丸となってこの難局を乗り切っていかなければならないと思っております。

そのような中で、今年は次の4つを最重要施策とし、取り組んで参ります。

### ①新たな販売方式による適正価格の獲得

昨年10月に2024年4月から定価を22,000円/m<sup>3</sup>にすること、また出荷ベース(期間契約)を継続していくことを表明しました。出荷ベースの検討は当協組において過去2回行いましたがともに見送られた経緯があり、今回が3回目となるためどうしても定着させたいと思っています。出荷ベースという考え方は全生協組連推奨の下、与党各党の生コン議員連盟だけでなく国土交通省並びに経済産業省からも賛同を得ておりますので、何とか形にしていきたいです。需要家様からはまだ十分な理解を得られていないことは認識しておりますが、不退転の覚悟を持って粘り強く交渉していく所存です。

### ②安定供給の確保

3年に渡って生コンの値上げをお願いしている状況もあり、我々組合員としては高品質の生コンを安定供給することは義務だと考えております。そのためにも運転手の採用を積極的にやりたいと思っています。

### ③戻りコン、残コン、出荷キャンセルの削減

戻りコンは2014年4月に有償化を導入し、残コンについては昨年4月に有償化を開始しましたが、最後の1台を有償化対象外としたため大幅な減少には至っていません。近隣協組では最後の1台を有償化対象とすることで残コン量を減らしている実績があることから、今年は当協組においても最後の1台を有償化することを検討していきます。

### ④完全週休2日制への取り組み準備とそれに伴うスライド改定

2025年4月開始を目途とした完全週休2日制実施のためのワーキンググループを立ち上げており、需要家の皆様のご理解の下で進めていきたいと思っています。高齢化している生コン業界ですが、週休2日制でないと新入社員を採用できない状況にあるため、次世代の生コン業界のため、そして継続的發展のためにもどうしても実施していきたいと思っています。

### <登録販売店との共存>

これら4つの取り組みの中で、価格に関しては登録販売店の皆様のご協力なしでは達成できません。登録販売店様のご理解のもと、相互理解と相互信頼で取り組んでいきたいと思っています。

結びに、辰年ということでご臨席の皆様ならびに関係各社の業績が辰のごとく上昇していくことをお祈りし、年頭のご挨拶とさせていただきます。

続いて来賓お二方からご挨拶いただきました。

【セメント協会流通委員長 吉良尚之様  
(太平洋セメント(株) 常務執行役員 セメント事業本部長)】



明けましておめでとうございます。東京協組ならびに組合員に皆さまには日頃から大変お世話になっており、この場を借りて御礼申し上げます。

昨年、東京協組においては青木体制がスタートし、価格政策、契約問題を中心とする新しい施策を継続的、精力的に取り組まれており、この活動は全国の生コン協組の一つのモデルとなって注目されていると思います。非常に契残の多いエリアで完遂には時間がかかるとは思いますが、組合員の皆様が一致団結してこの問題をクリアされていくと思っております。

現在の社会では諸問題が取り巻いておりますが、その一つは数量減です。セメント業界においては前年比90%台前半で推移しており2023年度は3,500万t前後という非常に低い水準になると見込まれます。各種コスト高騰による工事の見直しや景気自体の問題もありますが、構造的なものとしては働き方改革、特に現場における土曜日閉所となると進捗は10%以上落ちてくるため、ある期間内で見たときのあらゆるモノの動きは減ると考えます。これは構造的な問題のため、いかに克服していくかは各業界に求められていることだと思います。

もう一つはコストアップです。セメント以外にも色々な諸資材がこれからも上がり、賃金

を上げ、価格に転嫁していき物価が上がるというサイクルを繰り返すことは、ある意味国の政策になっているものです。各種コストを適正なレベルで転嫁していく政策が今後は必要になってくると思います。

3番目に働き手を確保することです。これは全産業の話ですが、今年の新成人人口はピーク時(現在50代の方々)の半分です。単純に考えても半分の人にしか入社してもらえないということになりますが、今は様々な業界がある中でこの業界に入社していただくためには労働環境の整備と待遇の改善が必要です。

この3つの問題は非常に複雑に絡み合っており、一つの解決策としては価格を上げて適正な利益をとっていくことです。

難題はありますが、今年は辰年、十二支の中で唯一の空想の動物で、証券の世界では天井上がりで株価が上がると言われています。色々なモノが値上がりの中で生コン価格についても青木体制の下、組合員が一致団結して辰に見習い上げていただきたいという祈りを込めて、また東京協組ならびに組合員各社の今後ますますのご発展、ご臨席の皆様のご健勝と今年1年のご多幸を祈念し、挨拶とさせていただきます。

【東京生コンクリート卸協同組合  
理事長 山下豊様】



明けましておめでとうございます。また平素より大変お世話になっており厚く御礼申し上げます。

ここ数年、企業のCSRやSDGsを聞くことが多くなり、生コン業界では“三方良し”も聞かれるようになりました。これは近江商人の商売十訓の一つで、その他に“商売には好況、不況はない、いずれにしても儲けねばならぬ”があります。世の中山あれば谷あり、平素から準備を怠るな、の意味に取れます。生コン業界は大きな転換期にあり長年の慣習であった契約形態の変更等、将来の生コン業界を見据えて今やるべきことについて真剣に議論を重ね、決定したら全員で果敢に挑むことが必要だと思います。生コン業界で働く若手中堅の皆さまが、業界の未来を明るく語れるようにしたいと思います。

### 二十歳を迎えて

三多摩アサノコンクリート(株)  
山口 良平



社会人になって 2 年が経とうとしている私も、いよいよ二十歳を迎えました。

入社当時から物覚えが悪く、会話下手で未熟な新人でしたが、先輩方から何度も教えてもらったお陰で、今では試験係として自分でもできる仕事が少しずつ増えてきました。今も先輩方から教わりながら日々奮闘しています。

日々の主な仕事内容は納入先での品質検査で当初は現場で怒られて悩みましたが、今では慣れたこともあって幸いにもよくして下さる方も増えました。昨年には新入社員が同じ部署に入り、未熟な私も何と先輩となり、毎日が新鮮な気持ちで仕事をしています。

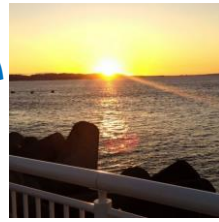
最近の趣味はロードバイクであり、自分の課題である筋力不足を解消できる？ことを期待しながら楽しんでおります。

最後に、これからも習得すべき知識や技術などが山のようにあるので、社会人として一先輩として会社に貢献できるよう自覚をもって日々努力していきたいと思っております。

## 20歳 おめでとう

### 仕事のやりがい

(株)多摩  
野崎 志竜



私は高校を卒業後、すぐに就職の道に進み約 2 年が経ちました。3 年間の高校生活では、学が事のなかった新しい知識や技術を身に付けてきました。その中で見つけたやりがいは、建築物が建てられていく様子や完成した建物、利用する人を見ることです。

コンクリートの品質管理者として、コンクリートの性状確認をする為、同じ現場に出向くたびに出来上がっていく建築物を見て、「もうそろそろ完成するな」、「出来上がってきたな」と考えるのが好きです。また、実際に完成した建物を見に行き、外観や利用方法を見ることも楽しく感じます。私は今までの人生の中で誰かのために何か行動を起こしてきたことがほとんどなく、人のために行動することがこれほど、やりがいのあるものだと分かりました。

この仕事に就くことが出来て良かったと思うと同時に、この技術や知識を伸ばしていきたい技士や主任技士を取得して、この業界に貢献していきたいと思っております。

### 好きなこと

東京コンクリート(株)  
滝田 二千翔



2023 年 4 月より社会人となりました。毎日工場での工程検査や、現場に行き生コンクリートを肌で感じております。

学生時代にスケートボードと出会い、スケートボードの楽しさにのめり込みました。休日は友人とスケートボードパークに行くことを楽しみとしています。スケートボードはコロナウィルスの自粛期間が明けた頃に始め、3 年が経ちます。高校生の頃、スケートボードが流行ったことで始めてみました。仲間達と切磋琢磨していたことで、新しい技が出来るようになるのは早かった気がします。色々な技が出来るようになる度に、スケートボードの楽しさと自分の新しい可能性を感じられ、さらに熱中するようになりました。技を習得するには失敗することもあり、恐怖心との戦いです。しかし負けずに挑戦し、成功できた時は達成感を感じられます。

スケートボードには終わりはありません。これからも大好きなスケートボードと共に自分の可能性を広げていきたいです。

### わが社の安全対策

### 城北小野田レミコン(株)

東京都足立区宮城二丁目、北側に荒川が流れ、その上を首都高速中央環状線が走る、そんな場所に城北小野田レミコンがあります。

1961 年に操業を開始して以降、2003 年にプラントミキサーを 3000L から 6000L に変更、2019 年から 2020 年にかけてプラントミキサーを 6000L から 3300L に更新し、新たに 3300L ミキサーを有したバッチャープラントを新設、同時期に社屋も新設し、現在の工場レイアウトに至ります。

わが社の安全対策としては、皆さんが実施されている内容と大きく変わらないとは思いますが、毎日の朝礼による安全意識の高揚、標識やポスター掲示による注意喚起、工事の際等の安全作業計画書の作成及び完了報告書の提出、同時に K Y の実施などがあります。

そのほか最も力を入れているのが安全パトロールです。年 1 回、役員による安全パトロールを実施するほか、月 1 回、工場従業員による安全パトロールも実施しています。その際、工場従業員一人ではなく業務部から一人、運輸社から一人の計三名で実施しています。これは役員によるものと同様ですが、沢山の目と見慣れていない目で見つけて気付きを増やすことを目的に行っています。

また変わったところでは、冒頭紹介した通り工場の横を荒川が流れていますが氾濫すると、なんと 4.5m の浸水深さが予想されているようです。



近くの電柱に看板の掲示と、4.5m の高さにラインが引いてあるのですが、その高さに恐怖を覚えます。事務所にハザードマップを常備し、日頃から災害時の対策を発信しています。

そして最も違う点、それはバッチャープラントの正面、車番掲示板の並び、アジテータ車が待機する正面に先人が手作りで作製した安全モニュメントが設置してあることです。車番を確認する際、必ず視界に入り、安全意識を高揚させる役割を担ってもらっています。

城北小野田レミコンは従業員の安全はもとより、社会の安全形成のためにこれからも尽力してまいります。

それではみなさん今日も一日ご安全に!!



## コンクリート主任技士・技士試験 合格おめでとう

2023 年度試験の合格者が発表され、当協組組合員では新たにコンクリート主任技士 3 名、コンクリート技士 5 名が誕生しました。合格者の皆さま、おめでとうございます!

全国でみると、主任技士試験の受験者は 2944 名合格者は 384 名(合格率 13.0%)で、技士試験では受験者 8410 名合格者 2681 名(合格率 31.9%)という結果になりました。

年度	東京都				当協組合格者数
	申込者数	受検者数	合格者数	合格率	
【コンクリート主任技士合格者】					
2023	1,347	969	163	16.8 %	3
2022	1,349	995	173	17.4 %	9
2021	1,302	975	154	15.8 %	4
【コンクリート技士合格者】					
2023	3,483	2,905	1033	35.6 %	5
2022	3,543	2,919	999	34.2 %	18
2021	3,557	2,957	1,007	34.1 %	16

#### (協組組合員) 2023年度 コンクリート主任技士合格者

社名	氏名
三多摩アサノコンクリート(株)	高山 聡
三多摩アサノコンクリート(株)	関口 友己
三多摩アサノコンクリート(株)	米澤 晃史

#### (協組組合員) 2023年度 コンクリート技士合格者

社名	氏名
植木生コン(株)	仁柿 拓也
三多摩アサノコンクリート(株)	山口 拓馬
第一コンクリート(株)	赤間 一志
宮松エスオーシー(株)	林 晃浩
武蔵菱光コンクリート(株)	矢野 美千代

	(出荷数量)		(引合、成約、契残)	
	2024/1月(実績)	2月(想定)	2024/1月(実績)	
	前年比	前年実績比	前年比	
大型	178,187 m <sup>3</sup> 117.2%	190,000 m <sup>3</sup> 108.4%	引合	144,350 m <sup>3</sup> 95.3%
小型	21,055 m <sup>3</sup> 92.2%	28,000 m <sup>3</sup> 103.7%	成約	123,430 m <sup>3</sup> 100.7%
計	199,242 m <sup>3</sup> 113.9%	218,000 m <sup>3</sup> 107.8%	契残	3,781,912 m <sup>3</sup> 80.3%